

貝沼亮介教授ら 市村学術賞貢献賞（(財)新技術開発財団）を受賞

2009年4月28日、貝沼亮介教授、須藤祐司准教授（工学研究科 知能デバイス材料学専攻）、大森俊洋助教（工学研究科 金属フロンティア工学専攻）が第41回市村学術賞 貢献賞を受賞しました。東北大多元研からは、秩父教授（功績賞）とのダブル受賞でした。

市村学術賞とは：

（財）新技術開発財団が大学ならびに研究機関で行われた研究のうち、学術分野の進展に貢献し、実用化の可能性のある研究に功績のあった技術研究者またはグループに贈呈するもの（功績賞と貢献賞がある）

テーマ： 新型Cu系形状記憶材料の開発とその変形爪矯正デバイスへの応用
（リンク先 http://www.sgkz.or.jp:80/prize/science/41/document_02.html）

- ▶ 巻き爪矯正デバイス ONCE Clip™
（リンク先 <http://www.tagen.tohoku.ac.jp/labo/kainuma/j/topics/makidume.htm>）

